

第1回下川町総合計画審議会(福祉・教育部会)会議録

日 時 令和2年11月2日(月)

19:30分～20:50

場 所 総合福祉センター「ハピネス」

《教育課所管施策》

出席者(委員): 瀬川部会長、麻生副部会長、筒渕委員、品地委員、佐藤委員、多田委員、
伊藤委員

出席者(町): 今井課長、羽場主幹、松本主任、中嶋主事、大川主事、那須野事務補

▽施策項目「学校教育」

事務事業名「下川商業高等学校入学促進事業」

町 : 内容説明

委員 : 一般財源が前年度よりも増えているが、どのようなことがあったのか。

町 : 入学準備金や通学費助成などの関係である。R1年度は入学者が31名に対して、H30年度は14名と少なかったからである。

委員 : 1人12万円の入学準備金となっているが、他の市町村でもあるのか。公共交通機関の通学定期運賃の半額補助とあるが、距離はどれくらいなのか。地方から高校に通う際に、弁当では大変だという保護者がいたが、給食にできないのか。

町 : 入学準備金については、近隣で実施していると聞いたことはない。金額については、制服やジャージを購入すると約12万円前後となるためその額になっている。通学費助成は、10キロから支給される。風連町からJRを使って通学している生徒もいるが支給している。給食については、数年前にも総合計画審議会では話があったが、商業高校については難しいところである。

▽施策項目「学校教育」

事務事業名「児童生徒安全対策事業」

町 : 内容説明

事務事業名「特別支援教育事業」

- 町 : 内容説明
- 委員 : 小中学校で特別支援教育をしているとのことだが、児童クラブや幼稚園は支援を受けられる体制が整っているのか。
- 町 : 児童室については、指導員の人数を増やしている。児童室において活動するうへでは、相談員が中心となって情報交換していくということになっている。幼稚園については、保健福祉課の管轄となるため不明なところがある。教育委員会が関係するのは、年長さんが小学校に入学する際に、スクリーニング検査や就学児健康診断などを毎年行っている。

公共施設名「多目的宿泊交流施設（アイキャンハウス）」

- 町 : 内容説明
- 委員 : アイキャンハウスの家賃収入はどうなっているのか。
- 町 : 収入を見込んだうへで指定管理料としている。
- 委員 : 一般の方の宿泊は受け入れていたと思うが、今後利用しないということは、指定管理者の方で受け入れるかどうかを決めているということなのか。
- 町 : 規則では、合宿以外の宿泊については教育長の認める場合となっている。今まではサンルダムの事業者の方などがやむを得ず入っていたのだが、利用の目的どおり、合宿や研修等で宿泊してもらいたいと指定管理者とも協議したところである。
- 委員 : スキージャンプで利用している生徒が多いと思うが、その他の利用内容はあるのか。
- 町 : スキージャンプ以外にも、剣道やバスケットボールをやりに商業高校に来る人もいる。部活動以外でも、商業を学びたいという生徒もいる。

▽施策項目「芸術文化」

公共施設名「郷土資料展示保存施設（旧一の橋小学校）」

- 町 : 内容説明
- 委員 : 今後の方向性が予約制ということだが、1人でも予約していたら開館するのか。

町 : 開館する。予約制なので人数は考えていないところである。

公共施設名「下川陶芸センター」

町 : 内容説明

委員 : 建物が相当古いと思うが、教育委員会としてはどんな方法を考えているのか。

町 : 陶芸をしている方たちのことを考えて、他の施設に移動させたいという考えである。

委員 : 作業等をしている際に、老朽化による落下物などの危険性があるため、老朽の少ない他の施設に代替するなどを検討していったほうがいいのではないか。

町 : 他の公共施設についても考えていきたい。

▽施策項目「生涯スポーツ」

公共施設名「体育施設」

町 : 内容説明

委員 : スポーツセンター等の施設の収入として、利用料が含まれていないという説明があったがなぜなのか。山村広場の何を廃止にするのか。

町 : 指定管理施設になっていると、利用料金は町に入金とはならず、指定管理者に入るためである。山村広場については、現在は条例の中で体育施設として位置付けをしているが、体育施設としての利用実績がないので、公園の一部として管理を変える考えである。

委員 : 指定管理施設は、今後もまとまった指定管理をを考えているのか。公共施設の見直しをすることで、一つひとつの公共施設の効率化を図っていくことができ、財政を圧迫しないという狙いだと思うが、一つひとつ分けるという考えもあるがどう考えているのか。

町 : こちらについては、あえて全ての施設を一括して指定管理制度によって運営している。仮に一つひとつの施設ごとに分けると、同じ人、同じ機材が一日の中でいろいろな場所に行くことができたものが、ばらばらになるので、むしろコストがかかってしまうということがあるため、まとめているところである。5年間の協定期間にあるが、1年毎に年度協定で見直しをしていてコ

スト削減に努めているところである。

委員 : 具体的にどのような支出削減をしているのか。例を出すと、スキー場が半年間しか使用しないのに体育施設の中では光熱費が一番高いので、何か工夫できる点があるのではないか。

町 : スポーツセンター含めて幾つかの施設は、LED化するバルクリースという事業を活用して、元々の電気料を安くできる仕組みを導入している。スキー場は従来型ということがあり、電気料が多くかかってしまうということがある。

委員 : スキー場のナイター利用について、曜日限定や時間短縮などの考えはあるのか。

町 : 利用者が少ない時間帯であったり、曜日の傾向があるので利用者がいない場合には、最小限の照明にするなど、指定管理者の方で利用実態を見ながら照明はこまめに点けたり消したりしている。曜日限定となると、行ける方、行けない方が極端に分かれてしまうため、現在のところ考えていないので、今後検討していきたいと思う。

委員 : 他の体育施設の方向性では、利用料の見直しということで値上げすることだと思うが、スキー場に関しては現状維持ということで、無料のまま運営していくのだと理解しましたが、前回の会議でスキー場の利用料を徴収してはどうかという審議をしたと思いますが、その後どのような感じで検討をしたのか。

町 : スキー場の利用料については、町内も町外も無料なのはどうかという意見を頂き、検討を進めた。指定管理者とも協議をしたが、利用料を徴収するうえで料金を徴収する人を別途配置したりすることになるため負担が生じるということがある。また、一般的なスキー場のリフトのような立派なものではないということもあり、現在のところは引き続き無料と考えているところである。町外の方も無料なのはどうかという意見については、他の体育施設も同様に、個人での利用については町内も町外も一律で徴収しているため、町民が無料で町外から来た方のスキー場だけ設定するのは整合性が取れないことから引き続き無料という考えである。

公共施設名「総合グラウンド」

- 町 : 内容説明
- 委員 : 総合グラウンドについてだが、将来的にはどのような位置づけを考えているのか。
- 町 : 将来性のつかみにくい場所となっているが、都市マスタープランの中では、総合グラウンドは重要なスポーツエリアや町中にある重要な場所となっているため、今後利活用できるように検討していく必要があると考えている。

その他

- 委員 : 教育委員会が所管する施設では赤字の合計額が約235,000千円であるが、この赤字をどのように思い、どうしようと考えているのか。
- 町 : 行政改革で検討していかなければならないことがたくさんある中、一つひとつの施設を丁寧に対処していく。ふるさと交流館や郷土資料展示保存施設は予約制になっているので、こういった施設はここから見直していくのがスタートになるかと思う。
- 委員 : 検討スケジュールというのは、示していく予定はあるのか。
- 町 : 示していけるものは示していきたいと思う。だが全体的に示していけるほどではない。
- 委員 : 小中学校に統合について、現在のところ検討スケジュールはあるのか。
- 町 : 教育委員会としては、小中学校合わせての9年間で子どもたちを育てていくという流れになってきている。現在は小中が連携した教育を進めていくということになっている。現在1クラス20名程度で1学年1クラスとなっていて、統合すると教室が足りなくなる。そうすると、新築や改築などでお金がかかってしまうため、まずは小中の一連として流れを進めていくとなっている。
- 委員 : 増築した場合に幾らくらいお金が掛かるのか、毎年35,000千円くらいお金がかかっていて、これを10年くらいのスパンで見たときにこういった動きになるのかというのを数値で見えていただき、検討しても良いのではと思う。
- 町 : 光熱水費や需用費などがあるため、統合したとしても金額的にはあまり変わ

らないと思うが、積算してみないとわからない。今年度、長寿命化計画の中で作成中なので、3月までには完成する予定となっている。

委員 : G I G Aスクールでタブレットが導入されている中、中学校で何人かが使用したら重くなってしまう状態だが、整備することは可能なのか。

町 : 小学校、中学校共に整備する。現在は廊下ごとに無線機を置いているが、各教室に無線機を設置するように進めているところである。

委員 : 前会議で指標の目標にするものや、基準値などを再度検討してほしいと意見があったが、資料を見るところ数値に変更はなかったため、どのような検討をして再度この数値を出したのか。

町 : 今回の指標の見直しについては、見直ししないという指示のもと進めている。

委員 : 生涯学習の関係で、学習塾の習い事で教育委員会が行っている学習塾、習い事の数ではないということで、教育委員会でやらなくてもいいことではという意見が出て、検討していただくとあったがどうなったのか。

町 : それについては、今回は見直しをしていない。